

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年7月11日

氏名	[REDACTED]		
所属	外国語学部 ([REDACTED]) 研究科	スペイン語学科・専攻	3年次
派遣先大学	サラマンカ大学		9ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
2	住居形態の詳細を教えてください。	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど ([REDACTED])
3	入居時手続き	例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る ([REDACTED])
4	費用 (月額)	650 (ユーロ) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	月に現金 (例: 月に現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
8	周囲環境	例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など ([REDACTED])
9	アクセス	例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 ([REDACTED])
10	留学中の住居に関して アドバイス	(今後留学をする学生に対して): ([REDACTED])
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入してください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
12	詳細を教えてください	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど ([REDACTED])

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (マドリードの携帯会社に行きSIMを購入)
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）
5	大学内インターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均） ※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。		
1	宿舍費	525 (ユーロ) /月
2	食費	50 (ユーロ) /月
3	交通費	30 (ユーロ) /月
4	通信費	10 (ユーロ) /月
5	娯楽費	30 (ユーロ) /月
6	図書費	5 (ユーロ) /合計
7	学用品（教科書など）	0 (ユーロ) /合計
8	被服費	20 (ユーロ) /合計
9	医療費	0 (ユーロ) /合計
10	雑費・その他	0 (ユーロ) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む） ※日本円または現地通貨で記入。		
11	出願料・宿舍デポジット	0 (ユーロ) /合計
12	ビザ申請関連費	50 (ユーロ) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	30000 (円) /往復
14	その他	0 (ユーロ) /合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	8730 (ユーロ) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：30000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：ソニー銀行） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	選択してください。
18	手続き方法・利点・欠点	
19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	財布をいくつか持っていき使い分ける。クレジットカードやキャッシュカードを複数枚持っていく場合は同じ財布に入れられない方がいい。大きい金額を持ち歩かない。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン）	ERV (5か月分で11670円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？	キャッシュレス その他 ()
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？	
6	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	おなかをよく壊していたので 正露丸は役に立った。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 日本食、服、カメラ、パソコン
2	現地で購入したもの スニーカー、服、お土産、SIMカード
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの 電子レンジなどで調理できる機器

VI. 留学先で困ったこと

寮にキッチンがなく、料理ができなかったこと

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

様々な困難があると思いますが周りの人に手伝ってもらいながら楽しい留学生活を送ってもらえればと思います。

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	スペイン語学科	3	年次
氏 名					
派遣先大学 (国)	サラマンカ大学 (スペイン)				
所属プログラム・ 学部・研究科	Cursos internacionales Facultad de Filología	履修言語	スペイン語		
留学期間	2018年9月～2019年6月				
報告書提出日	2019年7月10日				

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9月21日 ～1月21日 (14週)	1月24日 ～2月1日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の1週間は履修登録を加除できる。XX先生に相談し、……
前期	9月3日 ～1月29日 (17週)	月 日 ～ 月 日	日本にいたときに Cursos Internacionales のサイトから神奈川大学で指定されたコースを選択。その中で自分の受けたい授業を選択。サイトからクレジットカードを利用して支払い。授業が始まって2日間は授業の変更、文法の授業のレベル変更が可能。
後期	2月4日 ～5月27日 (16週)	5月28日 ～6月8日	授業が始まる前に留学生向けのオリエンテーションが行われる。そこで主な説明を受ける。最初の1, 2週間はお試しとして様々な授業を見学できる。自分の受けたいものが決まったらオリエンテーションでもらう書類に記入し提出。

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。

【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は[⑥] 【参考資料】授業時間数について】をご参照ください。
		1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週)	
前期	Gramática española	170 時間	授業は平日月曜日から金曜日に毎日 2 時間行われます。内容として、授業日の初日にレベルを分けるためのテストがあり次の日から授業が開始される形でした。授業は、最初に学生が文法についてどこまで知っているかを確認して分からないところや習ったことのないところがあったらそこを重点的に学習するというものでした。また教科書などは使わずにプリントを用いて学習しました。試験に向けての勉強は授業の最終日に講師に質疑応答する時間が設けられている場合もあったのでそこで復習しました。
		2(時間/回) × 5(回/週) × 17(週)	
前期	Historia de España	85 時間	授業は文法の授業と同じで平日の 1 日 1 時間の授業でした。講師によって教える時代は違いましたが、特に 10 月から 12 月までのコースは紀元前からの歴史を学習しました。この授業も教科書ではなくプリントを用いたもので講義形式のものが多かったです。テスト対策としては、授業でもらったプリントなどを用いて復習をしました。
		1(時間/回) × 5(回/週) × 17(週)	
前期	Cultura española	20 時間	このスペインの文化の授業は 9 月の 1 か月コースでのみ履修し、週に 5 日 1 時間ありました。形式では講義形式で時々講師からの質問に答える機会がありました。講師が話す内容で重要なものは自分でノートをとることがあったのでしっかり聞いていないといけない授業でした。テスト対策は、授業最終日に講師が復習をしてくれました。
		1(時間/回) × 5(回/週) × 4 (週)	
前期	Prácticas de destrezas orales	65 時間	会話の授業は歴史や文化の授業と同じく 1 日 1 時間でした。授業は毎回プリントが配られその内容について話し合ったり、ビデオを見て何についてのものかなどを話し合ったりしました。また日本でいうことわざなども学習し、話すのも語彙力が必要な授業だと感じました。テストはプレゼンを行いました。
		1(時間/回) × 5(回/週) × 13(週)	
後期	TRADUCCIÓN DIRECTA I: 2ª LENGUA EXTRANJERA: JAPONÉS	60 時間	月曜日と水曜日に 2 時間合計週 4 時間でした。授業はパソコンでドットキャンパスのようなものを用いていました。毎回テキストをダウンロードし、それを翻訳して授業に臨んでいました。日本語からスペイン語への翻訳の授業で、更に日本人の講師なので日本語の意味などについて聞かれることもあり日本人も勉強になる科目だと思いました。テスト対策としてカフェで友達と教え合いながら復習したり 1
		2(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	

			人で学習したりしました。
後期	TERCERA LENGUA: FRANCÉS II	30 時間	毎週火曜日に 2 時間授業が行われました。第三言語のフランス語なのですが、フランスとのハーフや高校の時からフランス語を学習している学生が多く講師もそれを把握しているため進行が早かったのととても難しかったです。さらに授業も全てフランス語なので理解がほとんどできませんでした。テストも対策ができず合格することができませんでした。
		2(時間/回) × 1(回/週) × 15(週)	
後期	SOCIEDADES DE ASIA ORIENTAL	30 時間	毎週木曜日に 2 時間授業が行われました。アジア社会を学ぶ授業で講義形式でしたが、講師が話すことを聞き取りノートを取らなければいけませんでした。国ごとにテーマが区切られていて 1 つの国が終わるたびに考察をまとめる課題がありました。テストには自分でとったノートやドットキャンパスに載っているパワーポイントなどを利用して復習しました。
		2(時間/回) × 1(回/週) × 15(週)	
		時間 (時間/回) × (回/週) × (週)	

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

前期はスペイン語を学ぶ時間が多く毎日のように課題があったので寮やカフェで課題をこなしながら予習もするという日々を送っていました。留学生活を通して予習は授業で学習したことが自分の中でよく理解できていたら次の内容にいち早く入ったりしていました。復習面でも同じように余裕があるときにしたり講師の先生に授業中や授業後に聞いたりしていました。

1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

高校生の時にメキシコへ留学していたこともあり、初めからスペイン語でのコミュニケーションは取れていましたがそれに加えて前期には文法の授業があったので更にスペイン語に関する知識が増えたように思います。しかし日常的な会話の面では問題なく過ごせていて現地の会話スピードにもついていていましたが、まだまだ分からない単語などが多く語彙力の不足を実感しました。

授業でもほかの国からの留学生は自分より多くの単語を知っていることが多かったので語学力が伸びた実感はないです。

1.4 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

前期は、スペイン語のコースがあり、更に歴史や会話や文化の授業もあったので言語だけでなく様々なことも学ぶことができました。特に歴史についてはサラマンカも歴史のある街で授業で取り上げられることもあったのでそれを実際見る事ができたので学習の意欲が高まりました。

後期では、スペイン語の授業がなくなってしまったので前期学んでいたようなことはあまり学べませんでした。自分の将来やりたいことでもある翻訳・通訳系の科目を受講することができたのでスペイン人の言い回しや上手な訳し方を学ぶことができたと思います。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

学修面は授業への勉強はできていたと思いますが、DELEなどの日本で取得するであろう資格の勉強時間をもっと取れたらよかったです。また特に後期での学習で分からないところをスペイン人の友達や講師などにもっと質問していれば理解がスムーズにできたのかなと反省しています。

アドバイスとしては前期のスペイン語のクラスは理解できているところを授業でやっている場合はどんどん自分で理解できないところを勉強していいと思います。クラスの先生もいい先生ばかりですが進むスピードが速かったり内容が難しいこともあるので分からないことがあればしっかり分からないと伝えるべきだと思います。また最初にレベルを分けるためのテストがありますが後から変更できるので先生のスタイルに合わない、自分には難しいと少しでも感じたら変更してもいいと思います。自分としては、自分よりも能力が高い学生がたくさんいた方が向上へのモチベーションになったので変更はしませんでした。それが一つの手だと考えます。

後期の授業のアドバイスは、前期分の授業を受けられないのでどうしても進行に差があります。そこで分からないことがあれば先生や前期も受けていた友達に前期の内容などを聞いた方がいいと思います。最初の一週間はお試し期間なのでいろいろな授業に出てみて自分のレベルでも受けられそうな授業を取るといいと思います。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

まず第一にかけがえのない友人がたくさん作れたことで自分の留学人生がより一層楽しくなったし悩んだり分からないことがあったりしたときに助けられました。また休日に一緒にサッカーをしたりテスト前になるとカフェで勉強したりと有意義な生活を送ることができました。友達ができることでスペイン人の思考や文化を学ぶことができたと思います。さらにサラマンカにはスペインの様々な地域から学びに来る学生がたくさんいるのでその地方の訛りや有名な食べ物などを知れたので日本人が思い描いているスペインのイメージ以外の知られていない文化を知ることができたと思います。スペインでできた友達も日本語に興味を持ってくれたり日本に行きたいと思ってくれたりしたので自分もスペイン人の友達にいい影響を与えられたのかなと思います。

2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

留學生活では寮生活でしたが寮内での友人があまりできず 1 人でいる時間が長かったのでそこを少し反省しています。またできればアパートに引っ越すことができればもっと輪が広がったのかと思いました。

サラマンカには日本や韓国などアジアに興味がある学生が多かったので日本のことに興味を持ってきていましたが日本の文化や歴史を教えられるのはいいもののスムーズに教えることはあまりできませんでした。自分のスペイン語能力が不足していたことや、日本についての勉強は留學前にしていましたがそれでも十分な情報を共有することができなかつたのかなと思いました。

これから留學する学生には、怖がらずにいろんな学生や現地の人に話しかけてみることをお勧めします。生活面で問題がないことがベストですが留學している限り何らかの壁に直面することがあると思うのでそれを乗り越えるためにも友人の存在は大きいと私は考えます。サラマンカにはたくさん日本人留學生が勉強しているのでスペイン語を向上させたい人はあまり関わらないようにしてスペイン人といる時間を増やすといいと思います。それでも困ったときにスペイン語でうまく説明できないことがある時には日本人の友人に相談することで不安や悩みを和らげられるので私としてもいて損はなかつたです。

留學生活をより良いものにするためにも無理せず周りに頼るべきだと私は思いました。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnote のプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留學修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。